

【鳥取県立人権ひろば 21「ふらっと」でミニ学習会開催事業】

在ブラジル・記録映像作家 岡村淳監督作品

岡村淳監督と共に観る上映会 & トーク会

「赤い大地の仲間たち フマニタス 25年の歩み」

本学習会は、映画の上映と監督と参加者とのトークを通して、
ハンセン病問題を考えます。

日 時：2019年10月10日(木)

18:00 開場 18:30 開演(上映時間 66分)

上映後トーク 終了予定 21:00

場 所：鳥取県立人権ひろば 21 ふらっと

(鳥取市扇町 21 番地)

参加費：無料

フマニタス ～人類愛～

「とんでもないことを始めてしまった」

ブラジル奥地のハンセン病患者の隠れ里に迷い込んでしまった若き

日本人神父・佐々木治夫さん。

神父は何の知識も資金もないまま、彼らのための診療所作りを始めた。

そして25年…

日本人神父と修道女たちの愛と闘いの記録。

監督紹介

東京都目黒区出身。1958年生まれ。

早稲田大学第一文学部にて縄文文化を研究。日本映像記録センターに入社、牛山純一代表に師事。『すばらしい世界旅行』『知られざる世界』(いずれも日本テレビで放送)の番組ディレクターを担当、ブラジルなど中南米を主に取材。

1987年、フリーランスとなり、ブラジルに移住。日本のNHKや民放各局のドキュメンタリー番組取材を経て、小型ビデオカメラによるひとり取材に開眼。

1997年から記録映像作家として自主制作のドキュメンタリーづくりをはじめ。

主にブラジルの日本人移民、社会・環境問題などをテーマとした作品の制作を継続中。2013年にはじめての著書「忘れられない日本人移民 ブラジルへ渡った記録映像作家の旅」を刊行、日本図書館協会推薦図書となる。



岡村淳監督と子どもたち

岡村監督は、制作責任者である自身の立会いを原則とする「ライブ上映会」を世界各地で行なっておられます。

主催：とっとり社会派シネマクラブ 公益社団法人鳥取県人権文化センター

※駐車場の数が限られております。出来るだけ乗り合わせていただくか公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ先：090-2297-1962 (カワグチ)